

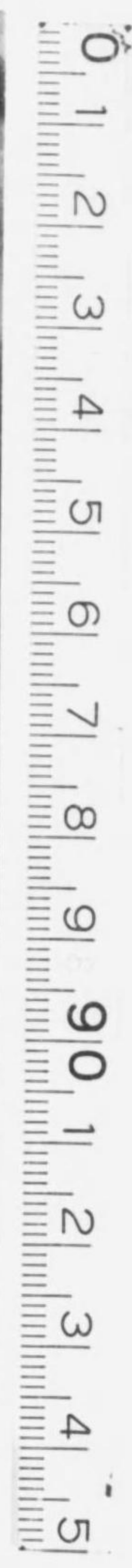
特248

746

山口縣立山口高等女學校
專修科講師

小田常太郎著

改訂 大内のりノ話



始

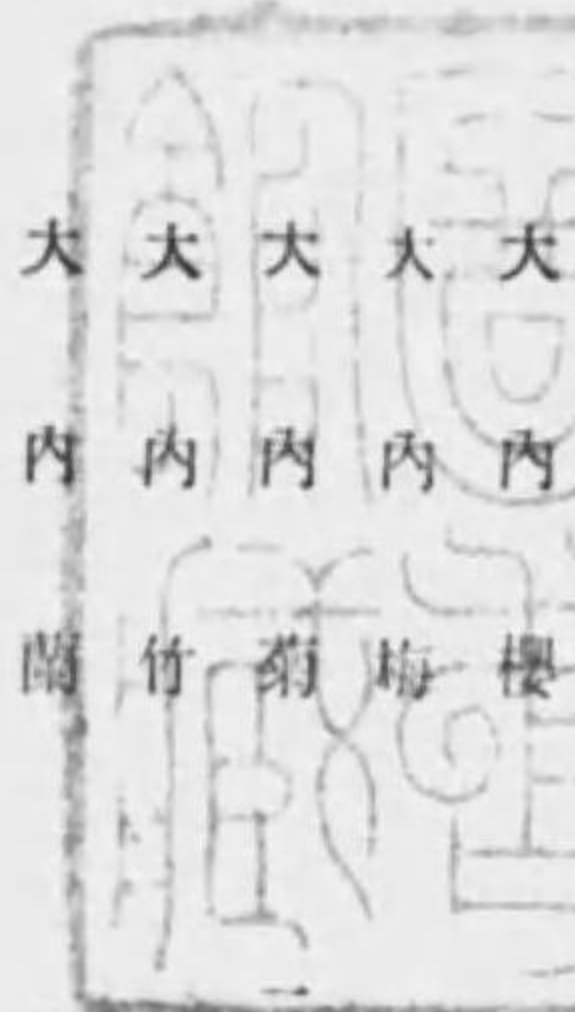


特248
746

大内のりノ話

私が大内のりトイフ名ヲ耳ニシタノハ確カ明治三十七八年ノ頃デアッタト記憶スル。ソレハ御堀ノ小川ニ産シ、食用ニ供セラル、モノデアルトイフコトデアッタ。當時私ハ大内村氷上ニ居テ井上某君ヨリ聞イタノデアツテ、甚ダ私ノ好奇心ヲ唆ツタ。大内のりノ名前方面白イ幼ラデアル。然ルニ事情ニヨツテ今日マデ大内のりノ研究ヲナスノ機会ヲ得ナカッタ。本年ノ三月(一九二五年)現ニ縣立圖書館ニ奉職セラル、調子君ニ會ツタ時ニ談偶々大内のりニ及ンダ、ソコデ再ビ私ノ昔ノ記憶方頭ヲ據ゲテ大内のりノ研究ニ取掛ツタ次第デアル。

山口ハ元來大内家トハ歴史的ノ關係ガ深イカラ大内ノ名ノ付クモノガ、天産物ノ中デモ仲々數ガアツテ



二種アリ(カハラヨモギ、貴船菊)

(クマザサ)

(キエビネ)

等ヲ掲ゲルコトガ出來ル。

藻トイヘバ大抵海産ノモノデアアル、のりトイフモ海苔ト書イテアル様ニ海ノモノデアアルカラ、淡水ニ産スル藻類デ食用ニ供セラル、モノトシテハ極メテ僅少デ、唯熊本ノ水前寺海苔ガ最モ有名デ、其他日光大谷川ニ産スルかはのり、ソレニ河もづく、信州飯岡山中ニアル念珠藻科ノ一族天狗ノ麥飯ガ時々行者ノ食フコトノアルモノ、外今一ツハ支那デハ水綿即アオミ



ドロヲ食用ニ供スル位ノモノデア、美禰郡共和村ニ花尾海苔トイフ食用種ガアルガ未ダ其本態ヲ知ルコトヲ得ナイ。
大内ノリハ淡水ニ産スルモノデアルト聞クト誰レデモソレハ水前寺ノリデハアルマイカト早合點セラル、ガ、水前寺ノリト、大内海苔トハ全ク縁故ノナイモノデア。

(一) 學術上ノ名稱

學術上ノ名前ハイロ／＼アルガ普通ハ *Betrichospermum mouliiforme*, *Hag.* ト呼バレテ居ル、バトラコスパーマムハ蛙ノ卵トイフ意味ガアツテ、丁度池ノ中ニアルヒキガヘルノ卵紐ノ様ナ外觀ヲ呈シテ居ルカラデア、種名ノモニリホムハ念珠トイフ意味ガアツテソレハオ念佛ヲ唱ヘル時ニ持ツ念珠ノ形ニ似テ居ルカラデア。
漢名ハ例ニヨツテ仲々多イ。陟釐、水中苔、河中側梨、水中鹿苔、蘊毛、衣、水衣、水落、綠苔、石髮石苔、青苔、水中細苔等デア。

和名ハ一般ニかはもづくト呼ンデ居ルガ、又かはあをのり、あをそ、あをさとモイヒ、本草和名九草ノ部ニハ阿乎乃利倭名類聚抄ニハ青苔、貝原益軒先生ノ菜譜ニハ河モヅク、兩國本草一名防長産物名寄ニハ川モツクト書カレテ居ル其他

- シバカハノリ 大日本國語辭典
- ワタノリ 全
- 水苔 言泉
- 加波奈 全
- 河苔 全

かはもづく カハアオノリノ一名 辭林

説明ニ曰ク綠色藻門ニ屬ス、藻トシテ一層ノ細胞ヨリナリ綠色ヲ呈ストアリ、サレバコレハ (*Plasiola Japonica*)ト混同セラレテ居ル、ソレハ和名かはのりデア。

山口縣下ニ於テハかはもづくト稱シテもづくト濁ラナイ、水もづくト呼ブ地方モアル(平川村)

大内ノリノ名ハ村名ヲ冠シタルモノデアアルマイカト最初考ヘタコトモアルガ、夫レデハナイトイフコトハ大内村ノ村名ハ町村制實施後ノモノデアアルカラ全然關係ハナイ、私ハ種々ノ点カラ綜合シテ判斷シテ全ク大内家ニ關係ヲ有スルモノト思フ、此ノリノ由來ニ説ヲ耳ニシタ、

一ハ大内公ガ菩提寺タル乗福ニ參拜セル時ノ饗應ニ供用シタルニヨルモノナリト。

二ハ大内家ヨリ御所及ビ足利將軍ニ献上シタルニヨルモノナリト。

大内ノリノ名前ハマダ其由テ來タル所ヲ確カニ知ルコトヲ得ナイノヲ甚ダ遺憾ニ思フ。
和名ノ河もづくハ海ニ産スルもづくニ似テ居ルトイフコトカラ名付ケラレタモノト思ハレル、海ノもづくハ漢名ヲ水雲又ハ海蘊トイフ、江灣内ニ産スル細イ糸ノ狀ヲシタ樹ノ枝狀ノ海蔭デ、上戸ノ人コレヲ三杯酢トシテ食用ニ供スルモノデア廣ク人ニ知ラレテキル。
併シ分類上カライヘバ褐藻類ニ屬スルモノデアアルカラ、河もづくトハ全然其ノ所屬ガ違フモノデア。

(二) 種類

河もづくニハ種類仲々多クシテ松村任ニ博士ノ植物名鑑ニヨレバ

イ、かはもづく

Batrachospermum Imjinhassum.

但大内のリト同名異物

ロ、いしかはもづく

B. *Dilichii.*

ハ、なつのかはもづく

B. *Edearpm.*

ニ、ひめかはもづく

B. *Galhai*

ホ、「和名ナシ」

B. *Coenulezecha.*

コレニ普通ノかはもづくヲ加ヘテ六種トナル理學博士齋田功太郎氏ハ更ニ清河もづく *B. visatum* ヲ記サレタレバ日本ニ知ラレタルモノ七種アル譯デアル。

(三) 形 態

白井博士著中等植物教科書ノ續篇ニハ極メテ細ク糸ノ如シ綠色流レニ從ヒテ靡ク云々。

本草圖譜 石草三四ニハ長サ三四寸ヨリ一尺許ノ細クシテ毛ノ如ク綠色ナリ

李 時 珍 蒙茸如髮有水汚無石而自生 纏牽如素線之狀

小野蘭山、重訂本草綱目啓蒙第十七

流水中石上ニ生ズ極メテ細ク糸ノ如シ、綠色流レニ沿フテ靡ク、肆人採乾シテ青苔ニ偽ル云々、久旱ニシテ水涸クトキハ乾テ紙ノ如シ、之レヲ苦紙トイフ、又夕唐山ニハ陟釐ヲ用ヒテ、紙ヲ抄クトイフ云々。

今大内のリノ形態ヲ肉眼で見ルト丁度佛敎家ノ「つまぐる」念珠ノ様デアルガ、扱コレヲ顯微鏡下ニ仔細ニ觀察スレバ、

一條ノ主軸ガアツテコレカラ側枝ガ四方ニ出テ居ル、其主軸ト側枝トヲ問ハズ一定ノ隔リニ節ガアツテ、ソレカラ密ニ枝分レシタ小枝ノ輪生シテキルノヲ見ル。

此等ノ小枝ハ孰レモ多量ノ寒天様ノ物質デ包マレテ居ルカラ甚ダ粘滑デアル。

(四) 生 殖

大内のリハ分類カライヘバ紅藻類ニ屬スルモノデアアルガ、紅藻トイヘバ葉綠素ノ外ニ多量ノ紅色素ガアルカラ「心天」ヲ拵エル原料植物ノ「てん草」ノ様ニ紅色ヲ呈スルノデアアル、大内のリガ紅藻植物デアツテ綠色ニ見エルノハ反對ニ葉綠素ノ含マル、分量ガ多イカラ、素人ハあををさ、あをのりト同様ニ綠藻植物ト誤信スルノデアアル。

元來紅藻類ノ特徴ハ只色合丈デ區別シタモノデハナイ、生殖法ニ特異ノモノガアルノデ、ソレヲ基礎トシテ異ヲ分子同ヲ集メタモノデアアル。

即チ有性生殖器ハ綠藻ヤ、褐藻ノ二類ニ比儔見ナイ、特異ノ構造ヲ以テ居ルコト、精子モ亦運動性ヲ點クトイフ点ハ紅藻ノ特徴デアアル。

此大内のリハ雌雄器ガ同株ニ出來ルモノデ、三月乃至五月ノ頃ニナルト輪生セル枝ノ末ニ近イ小枝ニ生ズルノデアアル、雄器ハ終末細胞ノ含有物ガ變ツテ一個ノ精子トナリマスガ、一般ニ多數ノ雄器ガ同時ニ、一小枝上ニ出現スル。

一般ニ藻類ノ精子ハ鞭毛ナルモノガアツテ自ラ運動スルモノデアアルガ、紅藻類ハ不動精子トイッテ鞭毛ガナイカラ、他動的ニ水ノ媒介ニヨツテ雄器ニ達スルモノデアアル。

雌器モ亦終ノ枝ノ上ニ出來テ精子ヲ受ケルタメニ棍棒狀ノ受精毛ナルモノヲ出シテ居ル、ソレニ精子ガ着クト即ガテ癒

合シ其精核ヲ卵細胞ニ與ヘル、茲ニ於テ受胎シタ卵細胞（即チ藏果器）ハ直ニ卵子ニ發達セズシテ、先藏果器ノ基脚ニ於ケル側壁カラ數多ノ突起ヲ出シ、此ノ突起ハ漸ク枝ヲ分岐シテ、終ニ藏果器ヲ圍ムノデアアル、此ノ圍塊ヲ囊果トイフ。其囊果ノ外面ノ突起ハ（造糸子）縱レ落ち菓子ナルモノヲ生ズル、此果子ガ發芽シテ先ヅ前胚ナルモノヲ生ジ、スグ河もづくニナラナイ、前胚ハ纖維狀ノ組織ヲ持ツテキル。

此前胚期ノモノハ無性的ニ單一胞子ヲ造リ、此ノ胞子ノ發育ニヨリ更ニ前胚期植物ヲ増加スルノデアアル、而シテ適當ナ時期ニ達シタナラバ、之レカラ側出スル特別ノ枝カラ漸次普通ニ見ル大内ノリトナルノデアアル、ダカラ吾人ノ大内ノリト唱ヘルモノハ、前胚期植物ニ對シテ、後胚期植物ト稱スベキモノデアアル。

大内ノリハ此ノ如ク有性生殖ヲナスモノデアアルガシバ、後胚期植物カラ單一胞子ガ出來テ繁殖スルコトモアル。山口附近ニ於テ五月ノ未頃ニナルト、最早大内ノリヲ見ルコトノ出來ナイノハ、囊果ノ成熟後ハ植物体ガ離脱シテ流失スルカラデアアル、暖地デハ三月頃ニスデニ流出ヲスル。

(五) 所 在

本邦諸處ノ清澄ナ淡水ニ生育シテ居テ、石ニ着イタリ、朽木又ハ水草等ニ着生シテ居ル、山口デモ棋野川ノ本流デハ見附カラナイ、要スルニ小川ナドニ好ンデ生育スルモノデアアル、此ノモノ、生育地ハ清澄ヲ所デアアルカラ食用ニスルニ氣持ガヨイ。

(六) 用 途

大内ノリハ普通ノ綠色植物ノ様ニ多量ノ葉綠素ヲ含ンデ居ルカラ、炭酸ノ同化作用ヲ營ンデ澱粉ヲ造ツテキルシ、又紅色素モ多少含ンデキルカラ紅藻澱粉モアラウシ、蛋白質モ含マレテキルカラ、食用トシテノ榮養上ノ價値モ認メナケレバナラス。

大内ノリヲ昔用ヒタノハ生デアツタカ、製品デアツタカハ一寸分リ兼ネルガ一般ニ兩方トモ使ハレテキル。乾製品ヲ用ヒル所ノアルコトハ白井博士ノ中等植物教科書續篇ニノベテアル。

生食スルニハ一寸湯ヲ投ジテ三杯酢ヲ和シテ用ヒル、山口附近テ用ヒルノモ專ラ此法ニヨツテキル、卷懷食鏡ニ

河蘊似海蘊其色青可食其味甘寒、脾胃虛張人金瘡毒及病人勿食水苔類多有蛇蛭遺子洗淨可食中其毒則吐血死生苔多害人須煮食曝乾如厚紙不害人云々

トアルガ如何ノモノカ

(七) 附 記

大内ノリニ就テ余ガ調査ヲ開始シタノハ、大内ノリハ郷土的ニ興味ガアルトイフコト。

口、大正七年頃ノ防長新聞紙上ニ當地ノ有識者間ニ、大内ノリ再興ノ義ガアツテソレガ進行シツ、アリトイフコトヲ記憶シテ居タカラ、不肖ヲ省ミズ茲ニ物シタル所以デアアル。

八、私ハ此大内海苔研究ヲ千九百二十五年ニ防長新聞ヲ始メ數多ノ新聞デ發表シタノデアアルガ、昨年十二月ノ防長新聞ニもづくガ佐波川上流島地川デ發見サレタ、海ニ産スルもづくガ淡水ニ産スルコトハ不思議デアアル、天然記念物ニ値スルモノカモ知レナイナド報導サレ、終ニハ水産試験場ノ實地檢分トマデ進展シ、コレヲ産スル河川ハ至ツテ少ク島地川ノモノハ相當ノ保護ヲ加ヘタナラ之ハ産業化スルコトガ出來ルダラウトノ結論ニ達シタ様デアアル、又同試験場デハ熊本ノ水前寺のりト同物カモ知レヌ若シ同物ナレバ川、溜池等ニ養殖ヲ試ミタイ云々、私ガ本文ニ記シテ居ル如ク同物デハ全クナイ、本縣各地大抵ノ所ニ産シテ島地川ダケガ所産ヲ占有スルトイフ譯ノモノデモナイ、溜池ナドニ養殖出來ルモノデナイノデアアル。

終ニ謹ンデ、大方ノ諸氏ニ若シ大内のリニ就テ知悉セラル、コトガアレバ、御指教ヲ賜ハラシコトヲ切ニ希望シテ止マナイ次第デアアル。

(昭和十一年七月十一日改訂)

昭和十一年七月十日印刷
昭和十一年七月十五日發行

發行所 山口縣立山口高等女學校
山口市道場門前町二五番地

著者 小田常太郎
山口市田町一九番地

印刷所 増見印刷所
山口市田町一九番地

印刷人 増見五郎

八、私ハ此大内海苔研究ヲ千九百二十五年ニ防長新聞ヲ始メ數多ノ新聞デ發表シタノデアアルガ、昨年十二月ノ防長新聞ニもづくガ佐波川上流島地川デ發見サレタ、海ニ産スルもづくガ淡水ニ産スルコトハ不思議デアアル、天然記念物ニ値スルモノカモ知レナイナド報導サレ、終ニハ水産試験場ノ實地檢分トマデ進展シ、コレヲ産スル河川ハ至ツテ少ク島地川ノモノハ相當ノ保護ヲ加ヘタナラ之ハ産業化スルコトガ出來ルダラウトノ結論ニ達シタ様デアアル、又同試験場デハ熊本ノ水前寺のりト同物カモ知レヌ若シ同物ナレバ川、溜池等ニ養殖ヲ試ミタイ云々、私ガ本文ニ記シテ居ル如ク同物デハ全クナイ、本縣各地大抵ノ所ニ産シテ島地川ダケガ所産ヲ占有スルトイフ譯ノモノデモナイ、溜池ナドニ養殖出來ルモノデナイノデアアル。

終ニ謹ンデ、大方ノ諸氏ニ若シ大内のりニ就テ知悉セラル、コトガアレバ、御指教ヲ賜ハラシコトヲ切ニ希望シテ止マナイ次第デアアル。

(昭和十一年七月十一日改訂)

昭和十一年七月十日印刷
昭和十一年七月十五日發行

發行所 山口縣立山口高等女學校
 山口市道場門前町二五番地

著者 小田常太郎
 山口市田町一九番地

印刷所 増見印刷所
 山口市田町一九番地

印刷人 増見五郎

終

